



なかむらひとみ

## 中村仁美さん

(京都市右京区)

トマト、イチゴなど

嵐山から桂川の流に沿って 1km ほど下ったあたり。住宅が広がり、ぽつぽつと農地が見え隠れする…そんなところに中村農園はあります。

「14年ほど前、お父さんが脱サラして農業を継いだんです。わたしも一緒にがんばろうと思って。」

最初はいろんな野菜を直売していましたが、ご夫婦であちこちに足を運んで勉強し、評判が良かったトマトを増やしていかれました。

そのうち、仁美さんはセールスをまかされます。

「私、勤めに出たことなかったんです。売って言うてもどうしたらいいのかと。本当にねえ。相手に言われる言葉の意味すらわからなくて。」周りの人に助けてもらったり、商談会で人脈をつくったり苦労しながら徐々に販路を広げました。今は、直売だけでなくレストランやスーパーに直接卸したり、ネット販売も行っています。

「京のべっぴん甘恋トマト」と名付けた大玉トマト。ミニトマトはカラフルに 7 色ミックスして袋詰めして「なないろの種」とネーミング。もちろんミディトマト「リルスター」もあります。



「トマトが採れない時期も中村農園のトマトを味わってもらいたいので。」と加工品も作りました。トマトの美味しさそのままのジュースやピューレは、小さな子から大人まで家族全員が味わえるやさしい味に。赤や青のトマトで作ったソース等は、少しリッチな気分を味わって欲しい一品に。加工品を使ったレシピブックも出版されました。

結婚した娘さん3人も、小さな子どもを抱えながらも手伝いに来てくれます。今、栽培はお父さんとお嬢さんのブライアンさんの担当に。「家族みんなで美味しいトマトをつくっていくのがわたしの希望なんです。」と明るく笑っていただきました。

京都 中村農園のホームページもご覧ください



作成日:2017年2月20日(掲載内容は作成日現在の情報です)